

太白区ママたちの 事故体験談の巻



1. すべり台から転落!

すべり台を逆行して足を滑らせ、手すりに顔をぶつけた、すべり台の上で他の子どもに気を取られ、そのまま滑り落ちてしまったなどの事故も多くあります。

対応 大人が遊び方や遊ぶ環境を確認し、遊具の正しい使い方やルールを教えましょう。ひもやフードのない服で遊ばせましょう。

2. ナッツを鼻に入れてしまった!

子どもは豆・ナッツ類やビー玉、小さなおもちゃなどを鼻や耳に入れて遊ぶことがあります。異物が取れなくなる事故もあります。

対応 子どもの鼻や耳に入る小さな物が近くにないよう、整理整頓しましょう。食べながら遊ばないよう習慣づけ、就学前まで豆・ナッツ類は与えないようにしましょう。

3. 自転車の車輪で足を怪我した!

自転車に子どもを乗せていて、後輪に足が巻き込まれたという事故が多くあります。

対応 自転車用幼児座席は販売店で適切に取り付けてもらいましょう。使用の際は、体重制限に注意し、足乗せを踏み台として使用しないようにしましょう。また、巻き込みを防止するガードを取り付けるなどの対策をしましょう。「道路交通法」の一部改正(令和5年4月1日施行)により、すべての自転車利用者にヘルメットの着用の努力義務が課されました。

4. 目を離したすきに子どもがベランダに出ていた!

対応 ベランダの出入口に柵を置く、サッシにストッパーをかけるなどの対策をしましょう。また、窓の近くにソファや棚を置かず、子どもが登ることができないようにしましょう。

5. 車のドアに手をはさんだ!

子どもの指に気づかずに車のドアを閉めてしまうと、大きなケガにつながります。エスカレーターに靴や服がはさまる事故もあり、保護者の目の前で起きて、対応が難しい場合があります。

対応 ドアを閉めるときは指などをはさまないか確認し、ドアやパワーウィンドウはロックしましょう。エスカレーターでは大人が手をつなぎ、黄色い線の内側に立ちましょう。

不慮の事故は子どもが亡くなる原因の上位にあります。全国的にみると、不慮の事故による死亡原因は、0歳代では窒息、1～4歳代では、窒息、溺死・溺水が多くなっています。

R5年度 太白区乳幼児の事故実態調査

★6～7人に1人は病院受診が必要な事故を経験していました!

★多かった事故は

0歳	1位:転落	2位:転倒	3位:やけど
1歳代	1位:転倒	2位:転落	3位:やけど
2、3歳代	1位:転倒	2位:転落	3位:ぶつかる

その他に、切る・刺す、誤飲、はさむといった事故が多かったです。

子どもに起こりやすい事故を知って、安全・安心な環境を整えていきましょう!

太白区保健福祉センター 家庭健康課

住所／仙台市太白区長町南3丁目1-15

電話／022-247-1111

子どもの事故予防

わんぱく期 (2歳6か月以降)

ホッ

と安心・安全な
環境を!

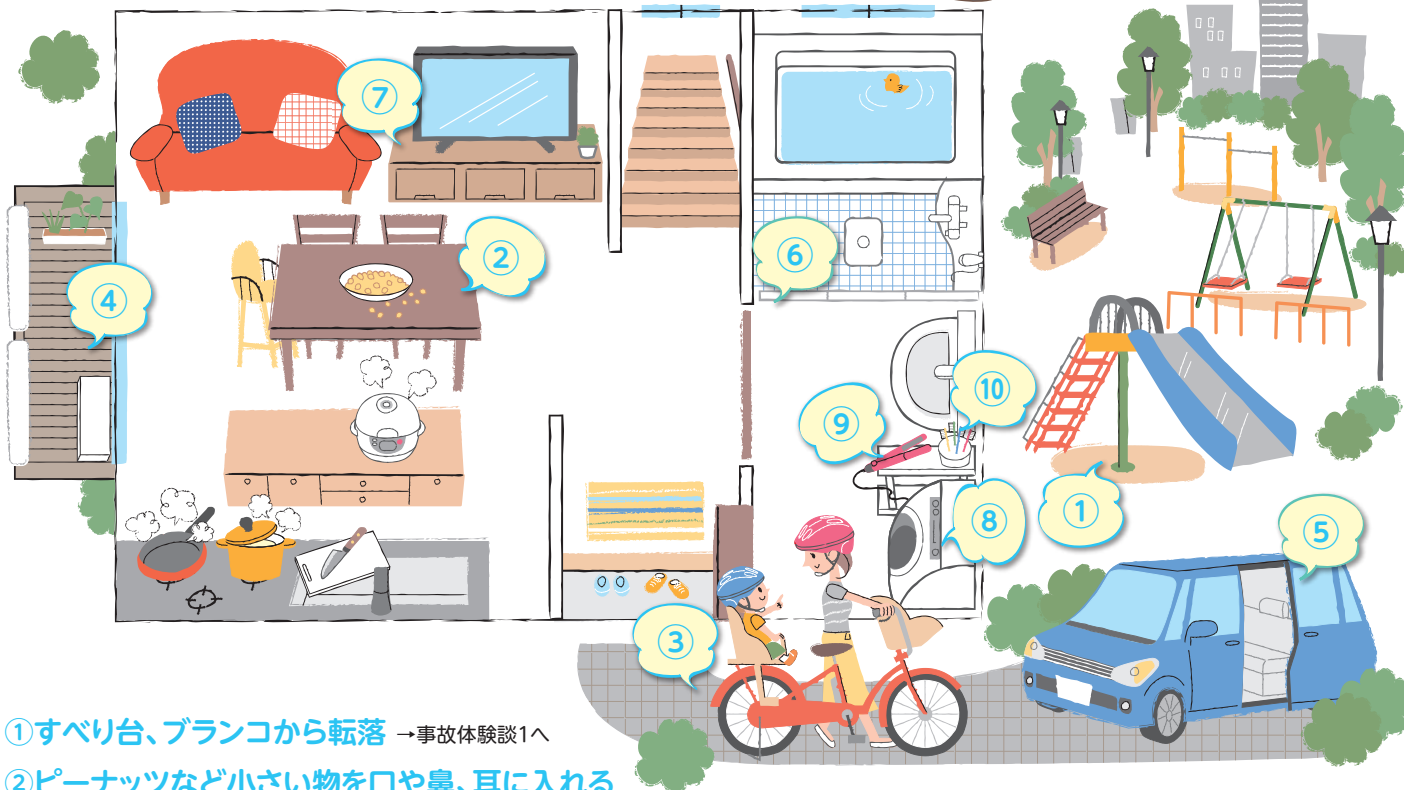


お友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなってきます。知りたいこともたくさん出てきて「なんで?」「どうして?」が多くなり、子どもの世界が大きく広がります。おうちの中だけでなく、外での事故も増えてくる時期です。身近なところから、安心な環境を目指して事故予防に取り組んでいきましょう。

太白区家庭健康課

乳幼児の事故予防ワーキングメンバー作成

危険箇所を確認の巻



① すべり台、ブランコから転落 → 事故体験談1へ

② ピーナッツなど小さい物を口や鼻、耳に入れる
→ 事故体験談2へ

③ 自転車の後輪に足をはさんだ
→ 事故体験談3へ

④ 子どもが自由にベランダで遊ぶことができる
→ 事故体験談4へ

⑤ 車の窓やドアに指をはさんだ → 事故体験談5へ

⑥ 浴室に子どもが簡単に出入りできる

→ 鍵をつけ、自由に子どもが出入りできないようにしましょう。浴槽内に水を貯めたままにせず、蓋はたわみにくくしっかりしたものを選びましょう。

⑦ テレビ台の引き出しで遊び、指をはさむ、テレビの下敷きに!

→ 引き出しを勝手に開けられないようにストッパーをつけるなど、転倒防止対策をしましょう。

⑧ 洗濯機の中に入って遊ぶ

→ 特に、ドラム式洗濯機は蓋が子どもの手の届きやすい位置にあります。中に入れて閉じ込められないよう蓋は閉め、ロックをかけましょう。

⑨ ヘアアイロンでのやけど

→ 使用後も高温で危険です。コードも含め、子どもの手の届かない安全なところに置きましょう。

⑩ 歯磨きなど(箸や棒付きキャンディ)を口に入れたまま走る

→ くわえたまま走らないように見守りましょう。



他にも危険なことが
潜んでいるニャ。
子ども目線で家の中や外の
危険がないかみてみよう!

安全チェックの巻



項 目	チェック欄	
	1回目	2回目
	/	/
① 子どもを1人で家や車に残さない		
② 自動車に乗る時は、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている		
③ 浴槽に水をためたままにしない		
④ 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く		
⑤ タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く		
⑥ ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く		
⑦ 暖房用具(ストーブ・こたつなど)の熱が直接触れないようにしている		
⑧ ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く		
⑨ 階段に転落防止用の柵を取り付けている		
⑩ お箸や歯ブラシなどをくわえたまま走らせない		
⑪ ベランダや窓のそばに踏み台になるものを置かない		
⑫ すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている		

健やか親子21 事故防止対策より

トイレットペーパーの芯と
ほぼ一緒なんだニャ!

この円の中を通る物は
子どもの口に入ります
(直径39mm)
この円より小さいものは
手の届くところに
置かないように
注意しましょう



子どもをそっと見守るネコ忍者